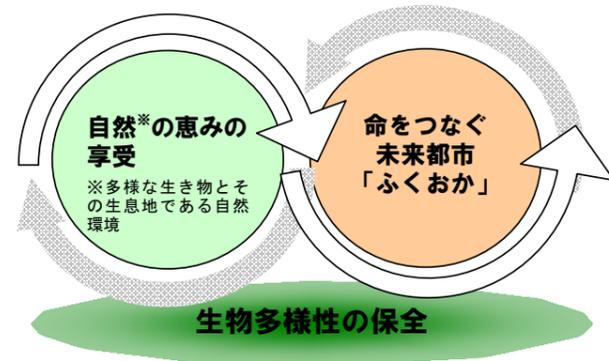


## 1. 「生物多様性ふくおか戦略」について

### 生物多様性ふくおか戦略の目標と基本的方向

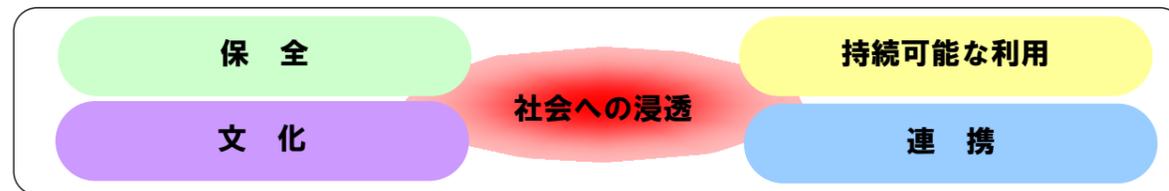
#### ◆全体目標

百年後も豊かな自然と共生し、その恵みに支えられ、命をつなぐ未来都市「ふくおか」



#### ◆基本的方向

当初の10年間において、まずは生物多様性の重要性の「社会への浸透」を図り、その上で、生物多様性の「保全」及び「持続可能な利用」を柱として、「文化」の継承・創造や、多様な主体や地域との「連携」を進める。



### 戦略の進行管理

◆生物多様性ふくおか戦略の推進を図るため、市民、NPO等活動団体、事業者、大学等研究機関など多様な主体との連携の仕組み(=プラットフォーム)を構築する。

◆プラットフォームは多様な主体との協議・情報集約・情報発信等の場として活用し、基本的方向の実現を目指していく。



## 2. 「生物多様性ふくおか指標(仮称)」の役割

### 生物多様性ふくおか指標(仮称)のねらい

- ◆本市の生物多様性の状況や、行政・市民の取り組み状況を把握し、評価する
- ◆指標による評価結果を公表し、意見を聴取し、その後の取り組みに反映する

### 生物多様性ふくおか指標(仮称)の構成

- ◆生物多様性ふくおか戦略に記載されている地域特性区分を4つのエリアに分割、4つのエリア+市全域のそれぞれにおける指標を策定し、生物多様性の健全性を評価する
- ◆全エリアに共通する生態系サービスにおける指標を設定し、生物多様性からの恵みの享受を評価する
- ◆市民意識の啓発と多様な主体の連携に関する指標を設定し、第一目標の達成を目指す
- ◆DPSIR構造をふまえて、知るための指標「状態(S)」、取り組むための指標「対応(R)」の2つの視点を重視し、指標を作成する

#### 生物多様性の健全性

山エリア…内陸部(山地・丘陵地域)、内陸部(里地里山・田園地域)  
川エリア…河川部  
海エリア…海洋域、島しょ部、沿海部(自然的地域)  
都市部エリア…内陸部(市街住宅地域)、沿海部(中心市街地・港湾地域)  
市全域エリア…山～都市部エリア全て

#### 生態系サービス

基盤サービス(水循環、土壌形成…)  
調整サービス(気候緩和、水質浄化…)  
供給サービス(食料、燃料、木材等の供給…)  
文化的サービス(精神的充足、レクリエーション…)

市民意識の啓発  
多様な主体の連携

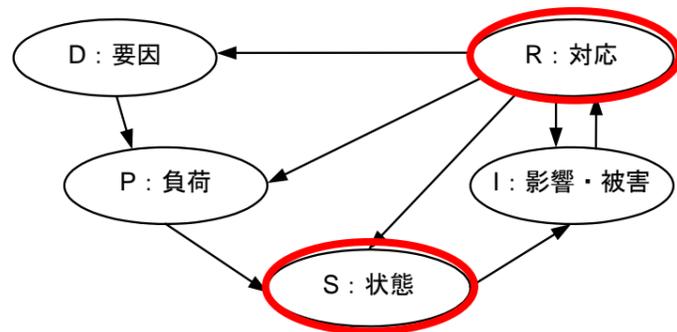


◆DPSIR構造

OECD等により提案され、現在、多くの生物多様性の議論の場で適用されているモデルで、人間活動と環境の関係を捉えるための概念である。

生物多様性の重要性を広く『社会へ浸透』させるためには、市の生物多様性の状況を「知ること」、また、それらによって生じる影響や被害への「取り組み」状況を把握する必要があるため、「状態(S)」及び「対応(R)」を重視し指標を作成する。

なお、今回取り上げない「D要因」「P負荷」「I影響・被害」についても、「S指標」と「R指標」の中で関連性を考慮していく。



DPSIR 構造

出典：EEA (1999), “Environmental indicators: Typology and overview” より作成

DPSIR フレームワークの指標区分

環境への負荷等の要因 (D: Driving force 又は Driver)	人口、経済、社会の発展、及びそれに伴うライフスタイル、消費のレベル、生産パターンの変化のこと。主な要因は人口増加と、それに付随する需要や人間活動の拡大。これらの要因は生産と消費の全レベルに変化をきたす。
環境への負荷 (P: Pressure)	人間活動による環境への負荷のこと。科学物質や廃棄物の放出、資源・土地の利用などによる負荷等。
環境の状態 (S: State)	土壌、空気、水等といった非生物的な状況や生態系、生息域、種、個体群、遺伝子といった様々なレベルにおける生物的な状況（生物多様性）のこと。
影響・被害 (I: Impact)	環境の悪化によって生じた、人間・生態系の健全性への悪影響や、資源利用、生物多様性自体に対する悪影響のこと。
社会的対応 (R: Response)	要因・負荷・状態・影響に対処する措置のこと。これらの対策は生息域内、域外の生物多様性の保全措置を含む。また、遺伝子資源の利用から得られる経済的あるいは非経済的な利益の衡平な配分を促進する措置も含む。さらに目標を達成するのに必要な因果関係の理解やデータ、知識、技術、モデル、モニタリング、人材、制度、法律、予算のための段階的措置も含む。

出典：平成20年度 生物多様性総合評価検討委員会（第1回）資料より作成

<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/shiraberu/policy/jbo/20-1/>